

科目コード:130011

Human Pathology Practicum I

担当教員	今井 美和													
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。													
開講年次	1年次後期			単位数			1			授業形態			演習	
必修・選択	必修			時間数			30							
該当ディプロマ・ポリシー	(1)		(2)	○	(3)	◎	(4)		(5)		(6)			
Keywords	病理、病因、微生物、感染症、免疫、炎症													
学習目的・目標	目的：感染症、免疫疾患、炎症性疾患の病態を形態観察を通して理解する。 目標：病理学および微生物学の専門用語を用いて、 各疾患 の病態を説明できる。													
授業計画・内容														
回	内容													
1	オリエンテーション 病因： 紫外線、放射線、タバコ、アルコールにより引き起こされる疾患													
2-10	微生物学各論： 細菌感染症 ウイルス感染症 プリオン病 真菌症 原虫症													
11-15	免疫疾患： アレルギー、移植免疫、自己免疫、免疫不全 炎症性疾患： 呼吸器系、消化器系など													
教科書	人間病態学(病気の成り立ち) PDFファイル 人間病態学演習Ⅰ PDFファイル ステップアップ病理学ノート 第2版 (サイオ出版) ステップアップ微生物学ノート 第2版(サイオ出版)													
参考図書等	ルービン カラー基本病理学(西村書店) カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) ビジュアル微生物学(ヌーヴェルヒロカワ)													
評価指標	定期試験の受験資格：履修登録をしている。授業回数の2/3以上出席している。 定期試験の結果 70% + レポート および 受講態度等 30%で評価する。													
関連科目	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習Ⅱ、疾病障害論、薬理学、公衆衛生学													
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)で学んだ基礎知識を身につけたうえで、授業に出席してください。 授業の予習、復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。													